

ISO/IEC 8859-2 は、中央ヨーロッパ（中欧）の言語の表記に用いられる文字に対応した 1 バイトの文字コード規格です。ISO と IEC が定めています。ISO/IEC 8859 というシリーズものの規格の第 2 部です。通称として Latin-2 とも呼ばれます。

規格の標題は「Information technology -- 8-bit single-byte coded graphic character sets -- Part 2: Latin alphabet No. 2」です。最新版は 1999 年に発行されています。

## 符号の構造

ISO/IEC 2022 と整合的な 1 バイト符号化文字集合として定義されています。8 ビット符号表の GL 領域 (0x20-0x7F) に ISO/IEC 646 国際基準版 (ASCII と同じ)、GR 領域 (0xA0-0xFF) にはこの規格が定める文字集合を置いた形で使われます。

## 文字レパートリー

ASCII には入っていない、アクセントやウムラウト、オゴネク、キャロンなどのダイアクリティカルマーク付きのラテン文字が収められています。

この符号化文字集合の文字レパートリーが対応する言語には、チェコ語、ポーランド語、ルーマニア語等が含まれます。

ISO/IEC 8859-1 といくつかの文字が共通しています。それらの文字は、8859-1 と同じ符号位置に割り当てられています。

## JIS X 0213 との関係

JIS X 0213 は ISO/IEC 8859-2 の文字を全て含んでいます。

## 参照情報

- ・ ISO/IEC 8859-2 の文字コード表

正式な規格票は JSA Web Store で購入できます。